

# 玄報

# はなゆ

37年5月10日  
発行所役場集務課  
場編底每月10日発行

まごころを  
集めて  
『白い羽根募金、  
にご協力を。』

第 67号

## 始まつた構造改善事業

十人が手を組み コンニヤク栽培



### ブルトーザーで 土地整備

「コンニヤクを主体として所  
得を上げよう」「どんな病害にも  
ゆるがない産地形成をしよう」

高冷地でありながら、山間の稻  
作を成功させ、コンニヤクの生  
産高も町内では折りの部落で  
あります。それにもかかわらず

いままでの農業からなんとか脱  
け出そうと寄り合ふことも数々  
結局立地条件を生かし、コンニ  
ヤクの共同栽培に意見が一致し

村落では標高六百メートルの  
払川部落は標高八百メートルの  
湯岐・払川部落

ロ、なだらかな山並の間に点在してい  
る部落で、高柳悦郎さんを中心とする十人のケ  
ループです。今号は大地と取り組んでいる現  
地の模様を紹介してみました。

立て大きな烟を造  
りました。既に二  
ヶ月で、高柳悦郎さんを中心とする十人のケ  
ループです。今号は大地と取り組んでいる現  
地の模様を紹介してみました。

「改善事業では、  
更に十五ヘクタ  
ーの開畑を目標に  
し、水田と合せ經  
営耕地は一戸平均  
二ヘクタール以上  
にしたいと思つて  
います」と代表者  
高柳さんは熱心に  
語る。



### 当分は土地こやす

更に「現在沢古いにある細い  
道路を改修し、十戸の農家を結  
びつける農道をつくりたい。また  
コンニヤクの貯蔵庫や乾燥施  
設も共同でやりたい」と夢は果  
てしない。

山から削り取った土は又字と  
おり荒地、肥料の問題をたずね  
たら園座に「一戸平均二ヘクタ  
ーの畠があつても、全部の面  
積にコンニヤクは付けしない  
三割ぐらいはコンニヤクの栽培  
を休み、その間に牧草などを時  
き地力の培養をする。できれば  
生産とも結びつけたいと思う」  
という。確にコンニヤクの产地  
移動は土地に大きな原因があり  
名産地をぶるわなくしているの  
でうなずける。

コンニヤク栽培の近代化も勿  
論大切で、機械力の導入、施設  
の近代化など問題は山積してい  
るが、"良いことはすべて吸収し  
よう"とする積極性に結びつい  
た払川部落の懇意は、今後の  
「安定したコンニヤク栽培を方

### ハイヤーが通る道路もできた

「毎年安定した収量をあけるに  
は栽培を休むぐらいの余裕をも  
つて、輸作できるようではないと  
決して長く続くものではない」

高柳さんは話してくれた。

▽食中毒のシーズンです。料理  
前には、かららず石けんで手を  
洗う。

▽妊娠婦に重労働は厳禁です。  
家族の温かい心くばりがぜひ必  
要。

▽手つぱいにきてくれる人のた  
めに、手回り品をおく棚や休  
憩所を整えておく。

▽衣類には防湿剤を入れ、カビ  
防止に備えたいもの。

▽四日は虫歟予防デー。食後に  
歎をみがくのが予防のコツです

中旬	五月十三日	母の日
下旬	五月十四日	週間
上旬	五月十五日	愛鳥

☆ 六月  
一日 気象記念日  
四日 虫歟予防デー  
七日 計量記念日  
十日 時の記念日

切りひらかれた畠

かがわれました。  
大木のような農業者の姿がう

向けるものとして意義深いもの  
があります。「米は食うだけ  
あれば」と水田を惜しげもなく  
埋め立て、「一枚で八反歩もある  
畠に立つて「堆肥は反当たり三  
千貫も入れればどんなヤセ地で  
もうどうにもなる」といい切ること  
とばの中に、明日を力強く生き  
するのも一法。

マウス酒、ジャムをつくる。  
△雨具の手入れ、補修をする。







「日本の農業を世界の農業へ進めなくては」  
と語る受賞者の割貝さん

県、県農協中央会、県農業会議福島民報社がなど、すぐれた農家に贈る第三回県下農業賞に板庭の割貝栄一さん(53)が選ばれました。この農業賞は県下で十人で、割貝さんは「コンニャク、養蚕地帯から酪農にみ切り、近代桑園」と酪農を結びつけたのがすぐれているとして晴れの表彰を受けたものです。  
今日は喜びの割貝さんを訪ねてみました。

四年前から酪農に主力  
訪ねたのは丁度雇工で割貝さんは野良から帰つたばかりだ  
った。奥の床の間には、金色さ  
んせんとした大トロフイーが置かれている。

やはり感激です。しかし農業十傑に満足しないで、今後も頑張ります」と早くも今後の農業経営に想いをはせているよう。

「酪農に主力を傾け始めたのは四年前の昭和三十三年です。當時は乳牛が五頭でした。二頭、仔牛を増やし、現在はサク乳牛を育てています。これが今後は増やしたい」と語る割貝さんに、猪

# 農事だより

来るか、水稻直播き時代

## 三力所に試作園設けました

ある程度労力をはぶいても收量が落ちないのが普通作物(稻麦など)であるといわれます。

年々農家の入手が少なくなります。そこで、できる限り労力を少なくして行こうと

いうところから、生産性の高い稲作りの方向として水稻の直播りが選ばれました。町でも別記のように三力所に寄り経過をご覧になり研究して下さい。(試作園次のとおり)

直播栽培の試作園をもうけ、技術の確立と省力化をめざし、町内技術陣を総動員してこれに當たっています。

この方法ですと、苗代作りにつき込んでいた労力がいらず、

☆西河内「西河内農事研究会」  
1日播まき。

30日播まき。

今後ひまみて試作園に立ち寄り経過をご覧になり研究して下さい。(試作園次のとおり)

もう一度施肥播種機(播まきと肥料やりが同時にできる機械)を使うので、反当り約一時間で終り收穫までは反当りわずかに八人十人の労働力で間に合います

## 農繁期の栄養

忙しいときのため保存食を作つておいたりするのもよいし、罐詰め、ハム、ソーセージ類を使つた即席料理で栄養をとるものよいでしょう。

### 保存食の例

◎サイズのつぶだ煮 材料 大

イカカツプ一杯、ニンジン半本

ゴマ大さじ三、干し魚、砂糖少

ツップ半杯、しょうゆカツプ一杯

であります。

◎スルメの切り漬 材料はスルメ五枚、にんじん三本と醤油二

合ぐらいの割合で作る。

たまごの味そ滇たまごをか

たらくまで、水気を切つて味そに

つけ一週間ぐらいで皮をむき食

べる。(農業改良普及所)

春の農作業が一段と忙しさを増すにつれ、毎日の食事はおろそかになつてはいないのでしょうか。栄養の片寄り、不足、とり過ぎは、からだにいろいろの故障をおこすことです。からだの労使とともに体外からの充分な食事を工夫しましょ。

春の農作業が一段と忙しさを増すにつれ、毎日の食事はおろそかになつてはいのでしよう

か。栄養の片寄り、不足、とり過ぎは、からだにいろいろの故

障をおこすことです。からだの労使とともに体外からの充分な

食事を工夫しましょ。

○…もうすぐ田植です。

苗の生育は順調ですか。最後まで管理に注意し短かくとも活着のよい苗に仕上げて下さい。畠苗代の苗取りは、田植当日に根を切らないように土を軽るくおとし、苗箱などへ入れて運ぶことです苗取りは4、5日前に灌水すると容易にとれます田植定規は完全ですか。品種や地力に応じ耕培密度を決めて定規を準備して下さい。

冷水田には水温上昇剤を使つても一つのコツです。

○…春にまかれる牧草

家畜を上手に飼うには飼料の自給化をはかるとともに新鮮な栄養価の高い牧草をふんだんに与えることが大切です。今月まく牧草には次のようなものがあります。ラジノクローバー、レツドクローバー、オーチヤードグラス、チモシー、イタリアンライグラスなど(農業改良普及所)

## 編集おどき

☆弁当箱で自宅、役場を往復する編集子ら

の第一回、「いささか單調に過ぎてはいる。しかし

丁度いま頃の自然界の変化はその一朝一夕ごとに新たな感覚を呼び起こしてくれる。この広報紙もマンネリに陥ります。何かの感覚に触れるものあれば、と感じること切だが。(山)

## 時のぞば

### 主産地形形成